

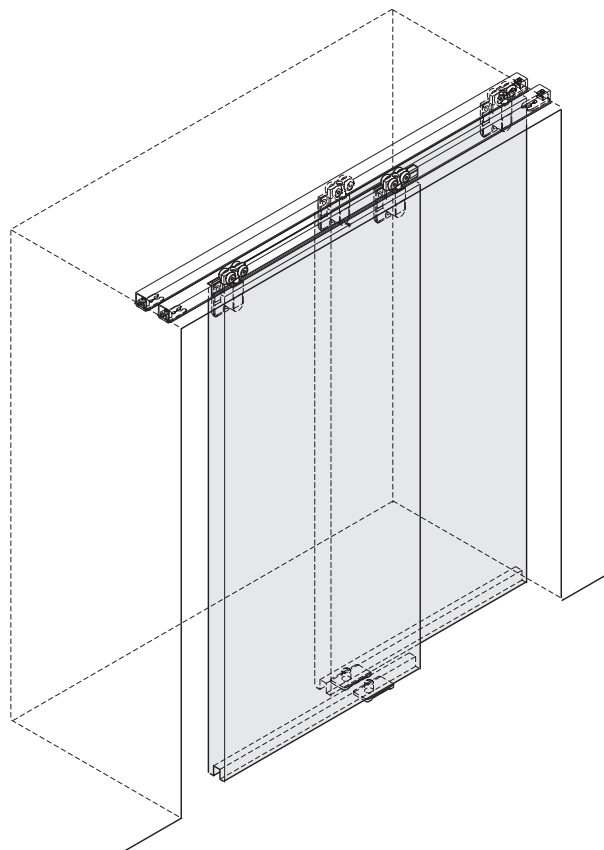
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 一般住宅向けの上吊式引戸金物です。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

仕様

扉幅	1000 mm 以下
扉高さ	2400 mm 以下
扉厚	28 mm 以上
扉質量 (1 枚当り)	30 kg 以下
扉上下調整範囲	上方向に 4 mm、下方向に 4 mm



正しく安全に施工していただくために

図記号の意味




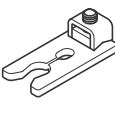





警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

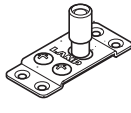
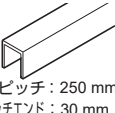
- ❗ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉などが脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

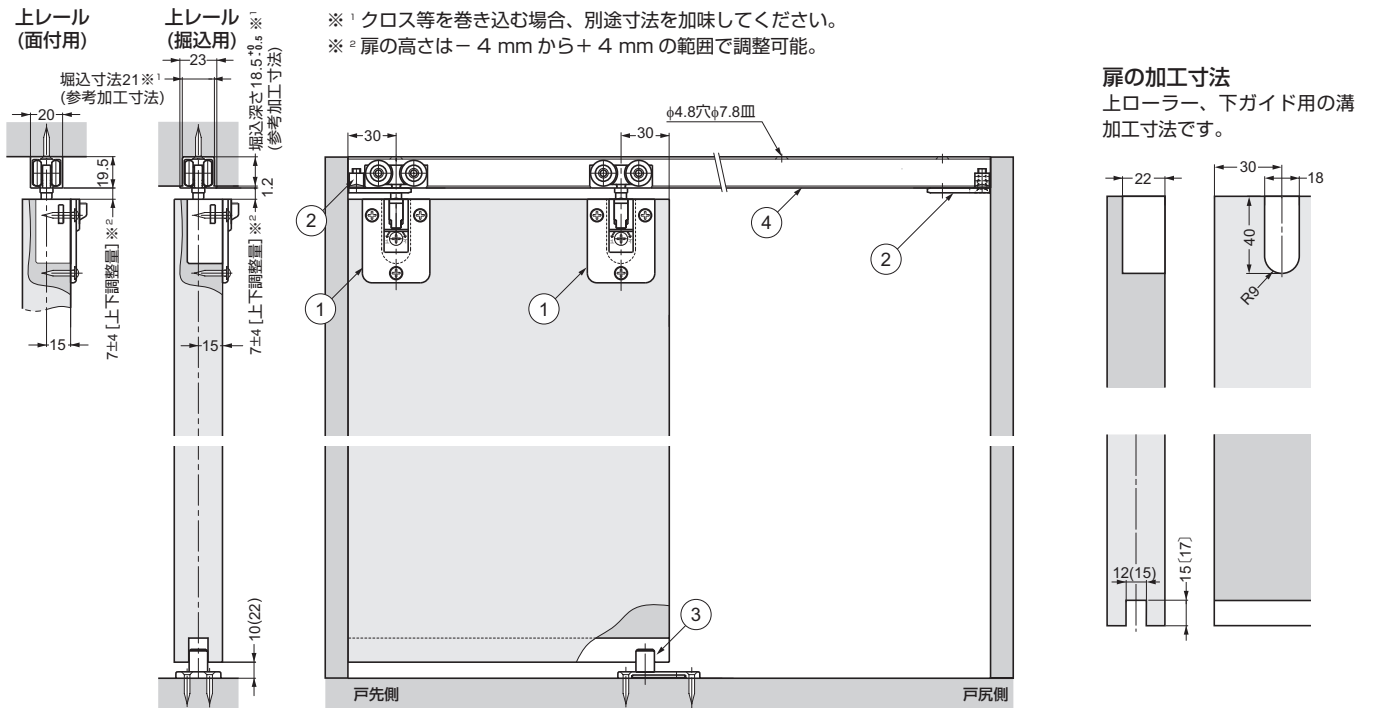
- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は家具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

部品一覧

No.	①	②	③	④	
品名	上ローラー (裏掘込用)	上キャッチ	下ガイド (ローラー付)	上レールスタン ダード用(面付)	上レールスタン ダード用(掘込)
品番	FD30-WRU	FD30-HTST	FD30-HBG	FD30-TRM	FD30-TRH
部品	 付属: 十字穴付バインド タッピンねじ 3.5×30 …… 3ヶ		 付属: 十字穴付皿タッピンねじ 3.5×30 …… 4ヶ		
片引き戸	 2ヶ	2ヶ	1ヶ	面付用か掘込用を1本	
引き違い戸	 4ヶ	4ヶ	2ヶ	面付用か掘込用を2本	

オプション	No.	⑤	⑥
	品名	下ガイドローラー付 (軸長タイプ)	扉下側埋込み ガイドレール
	品番	FD30-HBGH	FD30-HBRT
部品	 付属: 十字穴付皿タッピン ねじ(ステンレス鋼) 3.5×30 …… 4ヶ	1000 m / 1500 mm  穴ピッチ: 250 mm ピッチエンド: 30 mm 推奨ねじ: 十字穴付皿タッピンねじ 4×20	

寸法図



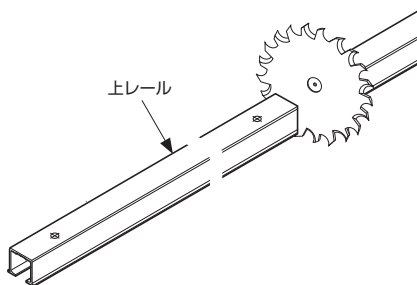
() 寸法は、オプションの下ガイドローラー付(軸長タイプ)を使う場合の寸法です。
 [] 寸法は、オプションの扉下側埋込みガイドレールを使う場合の寸法です。

1 取付前の準備、取付け

1. レールの切断

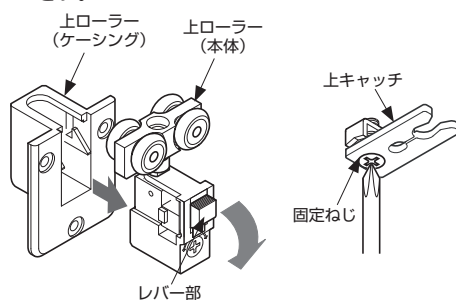
必要な長さに切断してください。

- △ レールの切断部が変形しないように補強材などを入れて切断してください。



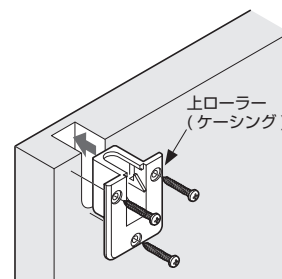
2. 部品の組み込み準備

上ローラーはレバーを下げ、本体とケーシングに分けます。上キャッチの固定ねじをゆるめてください。



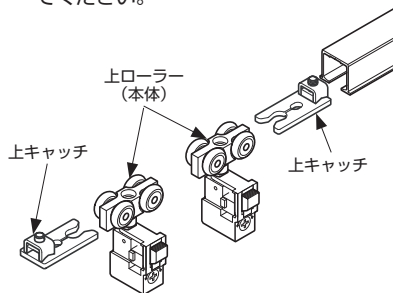
3. ケーシングの取り付け

上ローラーのケーシングを扉の加工部にしっかり入れた状態で、付属ねじを使い固定してください。



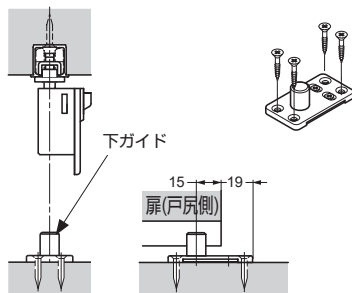
4. 部品の組み込み

部品の向きに注意して上キャッチ、上ローラー、上キャッチの順でレールに組み込んでください。組み込んだ上キャッチを仮止めし、部品を落とさないようにレールを取り付けてください。



5. 下ガイドの取り付け

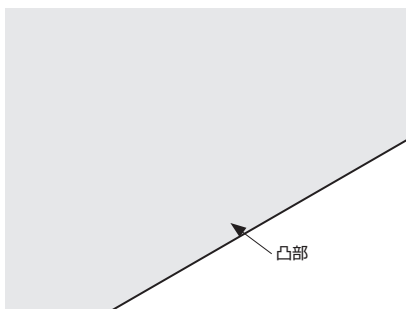
上レール中心の真下に、下ガイドの中心を合わせてください。扉を閉じた状態で、下ガイドの凸部が図の位置となるよう調整し、付属ねじで取り付けてください。



2 扉の吊り込み、調整

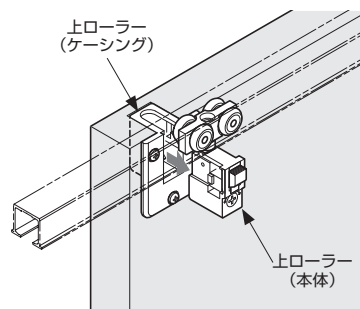
1. 扉の吊り込み (扉下部)

扉の下に 10 mm のかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねてください。



2. 扉の吊り込み (扉上部)

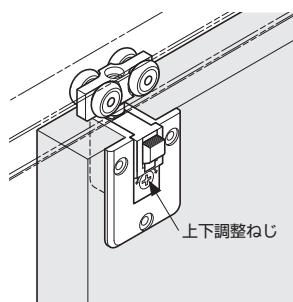
上ローラー本体を扉側のケーシングにクリック感があるまで差し込んでください。△ 上ローラー本体が外れないか確認してください。



3. 扉の調整 (上下調整代 8 mm)

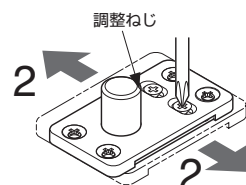
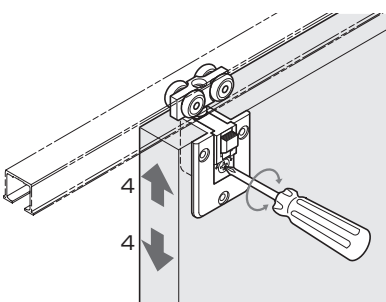
上下調整ねじを回すことで扉の調整がおこなえます。詳細は下図を参照ください。

- ⊙ 調整ねじを調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。
- ⊙ 調整ねじを電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。



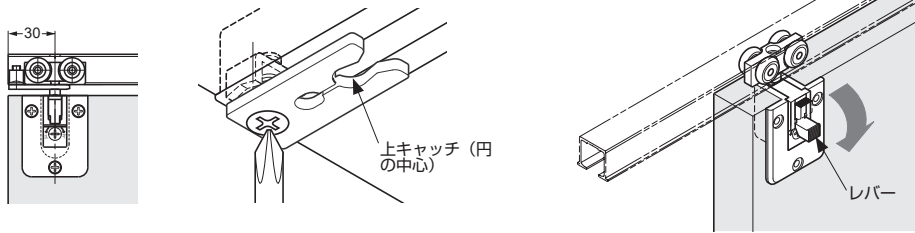
4. 下ガイドの調整 (調整代 4 mm)

扉をゆっくり動かしてください。扉の動きに引っ掛かり感があれば、下ガイドを調整してください。



5. 上キャッチの位置固定

上キャッチを枠から上キャッチの円の中心まで 30 mm の位置に固定し、扉をゆっくり動かして閉めてください。必要に応じて、上キャッチの位置を調整してください。



扉を外す場合

扉を外す場合は、レバーを指で下げ、上ローラー本体から扉を外してください。

△扉を倒さないように注意してください。

定期点検	<ul style="list-style-type: none"> ・レール内の掃除をおこなってください。 ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。
-------------	---

■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認後、扉の高さを調整し、床面と扉下面との隙間が 6 ~ 14 mm になるようにしてください。
	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものところすらないように下ガイドの位置を調整してください。
	上レール部のローラーにごみやアルミの切粉が付着、または刺さっていませんか。	上レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取り除いてください。
	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認後、扉の高さを調整し、床面と扉下面との隙間が 6 ~ 14 mm になるようにしてください。
	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものところすらないように下ガイドの位置を調整してください。
扉が開閉しない	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
扉が勝手に開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2021.11 0475-8